

金沢21世紀美術館7月のプログラム

7
2016

2016年7月に実施される金沢21世紀美術館主催事業についてお知らせいたします。

各催しの告知ならびに当日のご取材など、ぜひ貴媒体にて報道して頂きたくお願い申し上げます。

各事業の詳細につきましては、決まり次第随時お知らせいたします。

開催中の展覧会と関連プログラム



西京人—西京は西京ではない、ゆえに西京は西京である。

開催中～
8月28日(日)

「西京」は架空の都市国家です。2007年に小沢剛(1965年生まれ、埼玉県在住)、チェン・シャオジョン(1962年生まれ、北京在住)、ギムホンソック(1964年生まれ、ソウル在住)の3人のアーティストが、西京から来た人を意味する「西京人」という名でコラボレーションチームを結成。北京でも東京でもソウルでもないアジアのどこかの国、「芸術を愛する人々が住む国」について物語るというプロジェクトをスタートさせました。今回はこれまでの作品の中からセレクトしたものと、最新作となる《第5章:西京は西京ではない》を発表します。また、同世代で同時代を生きる3人が、独立したひとりのアーティストとして発表してきた近作の中から、歴史への対峙や哲学的考察を含むインスタレーション、映像、絵画、パフォーマンスなどの作品も紹介します。

レクチャー&ディスカッション ホウ・ハンルウ×ギムホンソック×小沢剛

アジア諸国に出自を持つアーティストを国際的な場へと力強く引きあげたキュレーター、ホウ・ハンルウ。長く親交も厚い西京人のギムホンソック、小沢剛とともに、アジアのアートシーンについて語り合います。

日時=7月2日(土) 13:00~15:00(開場 12:45)

会場=レクチャーホール 定員=先着90名 参加費=無料

※逐次通訳付(英一日)

※当日10時からレクチャーホール入口にて整理券を配布します。

※レクチャーの途中は緊急の場合を除いて出入りはできません。

ワークショップ「ふくろの国へようこそ」

紙袋を着たり、履いたり、被ったりして「ふくろ族」になってみよう！何の変哲もない紙袋が、帽子や服になったり、トンネルになったり、宝物になったり…さあ、いったい、どんな物語が待っているのでしょうか？

日時=7月23日(土) 午前の部 10:00~12:00 午後の部 14:00~16:00 会場=キッズスタジオ 講師=小沢剛

対象=主に小学生

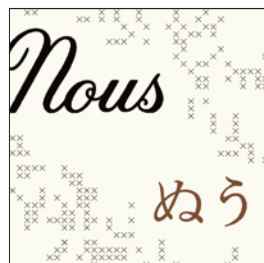
※お子さんのご家族もご希望により参加可能です。

※未就学児はワークショップに参加できる保護者の同伴が必要です。

参加費=無料 定員=各回先着20名(定員に達し次第締め切り)

申込=お電話よりお申込みください。076-220-2801(学芸課)

申込受付開始=7月5日(火)~ 受付時間=火曜日から日曜日までの10:00~18:00



コレクション展1 Nous ぬう

開催中～
9月25日(日)

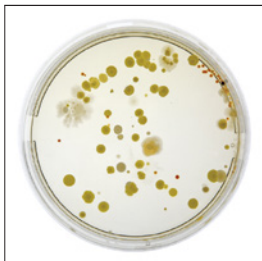
「縫う」ことを中心とする手芸という行為は女性の創作活動として認知されてきました。針を進める時間のなかに多くの思いが込められ、縫うことで生まれる衣服は身につける人自身を伝えるものとなります。日常のなかで育まれる感性を手がかりに、手芸的なものとアート、そしてジェンダーについて考えていきます。

沖潤子 アーティスト・トーク

本展出品作家である沖潤子の作品は、細いミシン糸を用いた高密度の針目で、刺繍という概念を超えた圧倒的な力を放っています。本トークでは、作品制作の背景、また自身の撮影による作品集『PUNK』についてなどお話しいただきます。

日時=7月9日(土)14:00~15:30(開場13:45) 会場=レクチャーホール 料金=無料 定員=先着90名

※当日10:00からレクチャーホール入口にて整理券を配布します。



SUPERFLEX One Year Project — THE LIQUID STATE / 液相

開催中～
2017年3月12日(日)

SUPERFLEXは、コペンハーゲン(デンマーク)を拠点に活動するラスムス・ニールセン、ヤコブ・フィンガー、ビョルンスティエルネ・クリスチャンセンの3人によるアーティスト・ユニットです。現代社会において、既存の社会制度や枠組みに言及して、生産方式やコミュニティへの働きかけによって公共空間における新しいシステムを提案しています。今回は金沢21世紀美術館を培養用シャーレに見立て、「培養」と「発酵」によってコミュニティを「醸成」するプロジェクトに取り組みます。

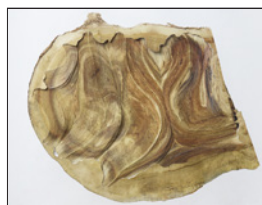
展示期間: 4月29日(金・祝)～11月27日(日)



no new folk studio 「Orphe」

開催中～
9月25日(日)

履き手が動くとき楽器のように音を奏で、さまざまな光と色を放つ新感覚シューズOrphe(オルフェ)。本展では、Orpheを履いたダンサーが真夜中の美術館を縦横無尽に駆け巡る映像作品《Motion - Score》をご紹介します。ダンサーの動き(Motion)が音と光に変換され奏でられることから、「動き」がまるで楽譜(Score)のようです。次世代クリエイター集団が作り出す新しい音楽インターフェースOrpheをご堪能ください。



《multiple - roadside tree no. 03》2016
Courtesy of Yutaka Kikutake Gallery

アペルト04 Nerhol Promenade / プロムナード

開催中～
8月28日(日)

彫刻家 飯田竜太(1981年、静岡県生まれ)とグラフィックデザイナー田中義久(1980年、静岡県生まれ)によるアーティストデュオ、Nerhol。2007年の活動開始から写真、本などを彫る独自の表現にこだわり続けてきた彼らの新作を発表します。

7月のステージ・イベントプログラム



AIR21:カナザワ・フリンジ2016 第2期公開イベント

7月23日(土)～
7月31日(日)

金沢21世紀美術館を飛び出し、アートな視点で金沢の課題、人、場所に取り組むアーティスト・イン・レジデンス(滞在制作)プログラムです。2015年に「Museum x KNZ Fringe～街と、人と、出会う」として実施。2016年に「AIR21: カナザワ・フリンジ」と改名し、本年は5人のディレクターが7つのリサーチを実施します。

トーク「滞在制作をめぐる対話—私たちはどこに「滞在」しているのか」

アーティスト、アクティビスト、キュレーターたちを招へいし、既存のアーティスト・イン・レジデンスでの「ホスト/ゲスト」関係の固定化によらない関係性のもと、滞在制作をめぐるクロストークを開催。彼らの対話から立ち現れる複数化した「アーティスト・イン・レジデンス」。そこから「滞在制作」についての新しい視点が生まれるはず。さて、私たちはどこに「滞在」しているのでしょうか。

日時=7月24日(日) 15:00～18:00

会場=金沢21世紀美術館 シアター21

登壇者=居原田通、住康平、長谷川新、土方大

対象=どなたでも 料金=無料

レクチャー「ソーシャリー・エンゲイジド・アート:アーティスト・イン・レジデンスの社会関与の可能性」

“アーティスト・イン・レジデンス”とは何か。アーティストが社会に関わること。街の人がアートに出会うこと。本レクチャーでは、社会をより良く変えるためのカタリスト(触媒)としてのアートについて、事例を紹介しながら解説していきます。また、参加者のみなさんとの対話を通して、アートの社会関与の可能性を一緒に探る機会とします。

日時=7月30日(土)14:00-15:30

会場=金沢21世紀美術館 シアター21

講師=秋葉美知子(NPO法人アート&ソサイエティ研究センター リサーチャー)

対象=どなたでも

料金=無料

「町の顔プロジェクト:金沢桜町編」お掃除イベントと展示オープニングパーティ

リサーチングアーティスト、マークサーチは日本人のお掃除について非常に感銘を受けました。お掃除の習慣、その道具についてリサーチし、小さなコミュニティの回覧板を使用し案内を回し募集を募り、金沢桜町の人々にお掃除についてのインタビューと肖像写真を撮影しています。その成果として路上にある古い掲示板を使って、「町の顔:金沢桜町編」という展示を開催します。お掃除イベントと展示のオープニングにぜひご参加ください。簡単な飲み物、スナックあり。

※マークサーチは2016年度の日米芸術家交換プログラム(日米友好基金主催・国際文化会館支援)のフェローとして滞在しています。

展示期間=7月31日(日)~8月31日(水)

お掃除イベント=7月31日(日) 10:00-12:00

オープニングパーティ=7月31日(日)13:00-14:30

集合場所=山鬼文庫(金沢市桜町5-27)

アーティスト=marksearch(マークサーチ)

対象=どなたでも

ご自慢のお掃除道具(はたき、ほうき、たわしなど)ご持参ください。

※お掃除、オープニング、どちらかの参加でも可。

料金=無料

お問合せ=山鬼文庫 TEL 076-254-6596



ゴーストバスターズ・イン・ザ・ミュージアム
2010 兵庫県立美術館

展覧会「ちがったさんのラッキー」コミュニケーター

「ちがったーズ」募集

活動説明会開催

7月29日(金)

7月31日(日)

9月にシアター21で公演する舞台「わかったさんのクッキー」の台本と演出を担う岡田利規、そして舞台美術担当の金氏徹平は、当館の収蔵作家です。舞台に先立って開催する展覧会「ちがったさんのラッキー」は、金氏が選んだいろいろな物と、岡田によるおたのしみ指令で構成されます。この「いつもとちがった物の見え方に気づいてラッキーな気分になれる体験型展示」の架け橋となるコミュニケーター「ちがったーズ」を募集します。夏休みのひととき、美術館でさまざまな人と出会い、いろいろな物の見方や捉え方を体感しませんか？

日時=7月29日(金)13:00-14:00、7月31日(日)14:00-15:00

会場=プロジェクト工房

対象=子どもから大人まで30名程度(小学生以下は保護者と一緒に参加)

(応募条件)

- ・ 岡田利規や金氏徹平の活動に関心がある方
- ・ 活動説明会へ参加可能な方 ※7/29(金)又は7/31(日)
- ・ 事前のワークショップへ参加可能な方 ※8/2(火)と8/3(水)
- ・ 展示期間中、3回以上参加可能な方 ※8/11(木・祝)~ 9/4(日)
- ・ E-mailで連絡が取れる方

※無償での活動となります。現代アートに関する知識・技量は問いません。

7月のキッズスタジオ・プログラム



キッズスタジオ・プログラム

ハンズオン・まるびい!

子どもも大人も一緒に楽しめるスペースです。いろいろな造形遊びで、工夫と発見を楽しもう!

プレイルーム

日時=毎週土日・祝 ※7月23日(土)を除く 13:00~16:00(自由入場)

場所=キッズスタジオ 対象=子どもから大人まで(小さなお子さんは保護者同伴) 料金=無料

(下はプログラムの例です。内容は日によって変わります。)

できるもんね! アートテクニック「ペーパー・ソーイング」

「ぬう」と誕生! 妖怪パペット

紙を手でもんで柔らかくして、パンチで穴を開けたら毛糸で縫って、ぶらぶら動く妖怪人形を作ろう。



キッズスタジオ・プログラム

親子向け情報・休憩スペース
「まるびい・すくすくステーション」

キッズスタジオ内にある小さいお子様連れの方をサポートするスペースです。
小さなお子さんのお散歩やひと休みするスポットとしても、ぜひご利用ください!

開催日=毎週火・木 10:00~12:30(自由入場) ※7月14日まで

会場=キッズスタジオ

対象=未就学児とその保護者 料金=無料



アートライブラリー・プログラム

絵本を読もう 「SUPERFLEX One Year Project — THE LIQUID STATE / 液相」とともに

日時=7月16日(土)11:00~(約40分)

対象=子どもから大人まで(幼児は保護者同伴)

料金=無料 集合=授乳室前(キッズスタジオ横)

読み手=大西洋子(ライブラリアン) 作品案内:野中祐美子(展覧会担当キュレーター)

絵本の読み聞かせのあと、キュレーターと一緒に作品を見に行きましょう。

美術奨励の日 7月9日(土)

市民がより美術に親しみ、豊かな心を育むよう、金沢21世紀美術館では、「美術奨励の日」を毎月第二土曜日に設けております。「美術奨励の日」は、金沢市民の方が金沢21世紀美術館主催の「コレクション展」を無料で観覧できる日です。総合案内で金沢市民であることを証明できるもの(運転免許証、健康保険証、年金手帳など)を提示いただき、無料の観覧券をお受け取りください。

7月の休館日

4日(月) / 11日(月) / 19日(火) / 25日(月)

本資料に関するお問合せ

金沢21世紀美術館 広報担当:落合、川守

〒920-8509 金沢市広坂1-2-1 TEL 076-220-2814 FAX 076-220-2802

http://www.kanazawa21.jp E-mail: press@kanazawa21.jp

※展覧会・イベントの開催時期や内容等は変更する場合がございます。あらかじめご了承ください。